

平成22年度再資源化預託金等特別会計収支計算書(案)の説明書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

資料3-3

◎金額の表示について:百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値とは一致しない。金額がないものは「-」、金額はあるが単位未満のものは「0」で表示している。
◎*を付した科目について:会計規程は、代表理事の決裁を得て科目区分の大科目中の中科目間において流用することができるとしていることから、本規定に基づき予算の流用を行った。

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1)預託方法別の預託台数

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	461万台	480万台	96%	489万台	△28万台	94%
引取時預託(後付預託を除く)	12万台	12万台	99%	13万台	△1万台	93%
合計(A)	472万台	492万台	96%	501万台	△29万台	94%
引取時預託(後付預託のみ)(B)	14万台	21万台	68%	21万台	△6万台	70%
預託台数合計(A)+(B)	487万台	513万台	95%	522万台	△35万台	93%

(2)品目別の平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	差異(a)-(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
ASR	6,660円	6,600円	60円	6,640円	20円	
エアバッグ類	2,490円	2,540円	△50円	2,510円	△20円	
フロン類	2,060円	2,060円	0円	2,060円	0円	
合計	11,210円	11,200円	10円	11,210円	0円	

(3)品目別の装備率

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	差異(a)-(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
エアバッグ類	95%	95%	0	95%	0	
フロン類	98%	98%	0	98%	0	

(4)金額

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	52,463百万円	54,680百万円	96%	55,769百万円	△3,306百万円	94%

情報管理預託金預り収入

(1)預託方法別の預託台数

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	461万台	480万台	96%	489万台	△28万台	94%
引取時預託	12万台	12万台	99%	13万台	△1万台	93%
合計	472万台	492万台	96%	501万台	△29万台	94%

(2)金額

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	1,087百万円	1,132百万円	96%	1,153百万円	△67百万円	94%

預託金預り収入計

金額

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	53,550百万円	55,811百万円	96%	56,923百万円	△3,373百万円	94%

②特定資産運用収入-再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	11,194百万円	11,176百万円	100%	10,467百万円	727百万円	107%

【予算との比較】

○新車購入時預託の予算想定台数は、(社)日本自動車工業会が発表した自動車国内需要見通し及び経済産業省が発表した環境対応車普及促進事業効果を参考に480万台としていた。主として東日本大震災の影響による3月の新車購入時預託台数の減少(実績:43万台 予算想定:59万台)により、預託台数実績は461万台となり予算想定を下回った。
○引取時預託台数(後付預託を除く)は、概ね予算想定のおりとなった。
○平均単価及び装備率は概ね予算想定のおりとなった。
以上を要因として、再資源化等預託金預り収入は、予算を下回った。

【平成21年度実績との比較】

○新車購入時預託台数は平成21年度実績を下回った。
○引取時預託台数(後付預託を除く)は、平成21年度実績をやや下回った。
以上を要因として、再資源化等預託金預り収入は、平成21年度実績を下回った。

《新車購入時預託台数実績》

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成22年度	116万台	138万台	92万台	115万台	461万台
平成21年度	96万台	122万台	121万台	150万台	489万台

《品目別預託方法別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車を除いたもの)》

	平成22年度決算		平成22年度予算		平成21年度決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
ASR	6,680円	5,780円	6,620円	5,860円	6,660円	5,810円
エアバッグ類	2,490円	2,150円	2,550円	2,110円	2,510円	2,080円
フロン類	2,060円	2,110円	2,050円	2,100円	2,060円	2,100円
合計	11,230円	10,040円	11,220円	10,070円	11,230円	9,990円

《品目別預託方法別の装備率》

	平成22年度決算		平成22年度予算		平成21年度決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
エアバッグ類	97%	30%	97%	30%	97%	30%
フロン類	99%	33%	99%	31%	99%	32%

【予算との比較】

預託台数合計が予算想定を下回ったことにより、情報管理預託金預り収入は、予算を下回った。

【平成21年度実績との比較】

預託台数合計が平成21年度実績を下回ったことにより、情報管理預託金預り収入は、平成21年度実績を下回った。

《新車購入時・引取時別の預託金預り収入の内訳》

	平成22年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
新車購入時預託	52,372百万円	54,483百万円	96%
引取時預託	1,178百万円	1,328百万円	89%
合計	53,550百万円	55,811百万円	96%

【予算との比較】

予算のおり。

【平成21年度実績との比較】

保有債券残高の積み上がりにより、平成21年度実績を上回った。

《保有債券残高実績》

平成22年度末残高	平成21年度末残高
8,216億円	7,997億円

2. 事業活動支出

① 預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1) 品目別の払渡台数

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
ASR	379万台	395万台	96%	366万台	13万台	104%
エアバッグ類	194万台	229万台	85%	164万台	30万台	118%
フロン類	310万台	346万台	89%	299万台	10万台	103%

(2) 品目別の平均単価

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	差異(a)-(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
ASR	6,190円	6,200円	△10円	6,180円	10円	
エアバッグ類	2,070円	2,030円	40円	2,030円	40円	
フロン類	2,090円	2,090円	0円	2,090円	0円	

(3) 金額

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	33,976百万円	36,355百万円	93%	32,230百万円	1,746百万円	105%

《引取業者引取台数実績》

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	365万台	395万台	92%	392万台	△27万台	93%

《引取業者引取台数におけるエアバッグ類・フロン類の装備率実績》

	平成22年度		平成21年度 決算
	決算	予算	
エアバッグ類	52%	59%	44%
フロン類	83%	87%	82%

【予算との比較】

○引取業者引取台数が予算想定を下回ったため、ASR払渡台数は予算想定を下回った。
 エアバッグ類及びフロン類は引取業者引取台数が予算想定を下回ったこと、及び引取業者引取台数における装備率が予算想定を下回ったことにより、予算想定を下回った。
 ○品目別の平均単価は概ね予算想定のとおりとなった。
 以上を要因として、再資源化等預託金払渡支出は、予算を下回った。

《品目別の再資源化等預託金払渡支出の内訳》

	平成22年度			
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	
ASR	23,483百万円	24,478百万円	96%	
エアバッグ類	4,030百万円	4,643百万円	87%	
フロン類	6,464百万円	7,234百万円	89%	
合計	33,976百万円	36,355百万円	93%	

【平成21年度実績との比較】

各品目の払渡台数が平成21年度実績を上回ったことにより、再資源化等預託金払渡支出は、平成21年度実績を上回った。

情報管理預託金払渡支出

(1) 台数

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	382万台	395万台	97%	377万台	6万台	101%

(2) 金額

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	677百万円	706百万円	96%	600百万円	78百万円	113%

《情報管理預託金払渡支出の単価別の払渡台数》

1台当たり単価	平成22年度				平成21年度 決算	
	決算		予算		払渡台数	比率
	払渡台数	比率	払渡台数	比率		
130円	202万台	53%	203万台	51%	267万台	71%
230円	181万台	47%	192万台	49%	110万台	29%
合計	382万台	100%	395万台	100%	377万台	100%

【予算との比較】

○引取業者引取台数が予算想定を下回ったため、情報管理預託金の払渡台数は、予算想定を下回った。
 ○単価230円の払渡台数の比率が予算想定を下回った。
 以上を要因として、情報管理預託金払渡支出は、予算を下回った。

【平成21年度実績との比較】

○払渡台数は平成21年度実績を上回った。
 ○単価230円の払渡台数の比率が平成21年度実績を上回った。
 以上を要因として、情報管理預託金払渡支出は、平成21年度実績を上回った。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	1,599百万円	1,703百万円	94%	1,103百万円	496百万円	145%

【予算との比較】

○払渡台数が予算想定を下回ったことにより、利息を付す払渡台数が予算想定を下回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出は、予算を下回った。

《未払再資源化預託金等利息支払支出の内訳》

	平成22年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
再資源化等預託金払渡支出に付す利息支払支出	1,571百万円	1,673百万円	94%
情報管理預託金払渡支出に付す利息支払支出	29百万円	30百万円	97%
合計	1,599百万円	1,703百万円	94%

【平成21年度実績との比較】

平成22年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成21年度よりも高く、また、利息を付す払渡台数が平成21年度実績を上回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出は、平成21年度実績を上回った。

平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率	平成21年度利率
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金払渡支出計

金額

	平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	36,253百万円	38,764百万円	94%	33,932百万円	2,320百万円	107%

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

(1)台数

平成22年度			平成21年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
91万台	80万台	114%	78万台	13万台	117%

(2)平均単価

平成22年度			平成21年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	差異(a)-(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
11,140円	11,120円	20円	10,760円	380円	

(3)金額

平成22年度			平成21年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
10,150百万円	8,893百万円	114%	8,404百万円	1,746百万円	121%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成22年度			平成21年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
444百万円	415百万円	107%	260百万円	184百万円	171%

【予算との比較】

○輸出返還台数は予算想定を上回った。
○輸出返還平均単価は概ね予算想定のおりとなった。
以上を要因として、再資源化預託金等輸出返還支出は、予算を上回った。

【平成21年度実績との比較】

輸出返還台数が平成21年度実績を上回ったため、再資源化預託金等輸出返還支出は、平成21年度実績を上回った。

《輸出返還台数実績》

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成22年度	22万台	23万台	24万台	22万台	91万台
平成21年度	22万台	17万台	19万台	20万台	78万台

【予算との比較】

○輸出返還台数が予算想定を上回ったことにより、利息を付す輸出返還台数は予算想定を上回った。
○利息の平均単価は予算想定を下回った。
以上を要因として、未払再資源化預託金等利息支払支出は、予算を上回った。

《利息が付された輸出返還1台当たりの利息単価の実績》

	平成22年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
利息単価	491円	521円	94%

《預託年度別の輸出返還台数実績》

預託年度	平成22年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
平成16年度	10万台	14万台	72%
平成17年度	41万台	39万台	106%
平成18年度	30万台	21万台	142%
平成19年度	6.7万台	3.6万台	188%
平成20年度	1.5万台	1.0万台	150%
平成21年度	1.0万台	1.0万台	102%
平成22年度	0.6万台	0.4万台	148%
合計	91万台	80万台	114%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

(※)なお、当年度預託の自動車の当年度輸出返還には利息は付されない。

【平成21年度実績との比較】

平成22年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率は平成21年度よりも高く、また、利息を付す輸出返還台数も平成21年度実績を上回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出は、平成21年度実績を上回った。

平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率	平成21年度利率
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金輸出返還支出計

金額

平成22年度			平成21年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
10,594百万円	9,308百万円	114%	8,664百万円	1,930百万円	122%

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額

平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)(*)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
252百万円	252百万円	100%	245百万円	7百万円	103%

当初予算(d)	(a)/(d)
264百万円	95%

(*)会計規程は、代表理事の決裁を得て科目区分の大科目中の中科目間において流用することができるとしていることから、本規定に基づき予算の流用を行った。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)(*)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
12百万円	12百万円	100%	8百万円	4百万円	143%

当初予算(d)
-

(*)会計規程は、代表理事の決裁を得て科目区分の大科目中の中科目間において流用することができるとしていることから、本規定に基づき予算の流用を行った。

他会計への繰入金支出計

金額

平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
264百万円	264百万円	100%	253百万円	11百万円	104%

《出えん等実績》

出えん等先	出えん等額(※)	
	平成22年度	平成21年度
資金管理法	54百万円	63百万円
指定再資源化機関	150百万円	160百万円
情報管理センター	60百万円	30百万円
合計	264百万円	253百万円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

(なお、「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」の当初予算264百万円のうち、12百万円を「未払再資源化預託金等利息支払支出」の予算へ流用した。)

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入—再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額

平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
47,104百万円	48,312百万円	97%	43,279百万円	3,824百万円	109%

【予算との比較】

事業活動支出が予算想定を下回ったため、事業活動支出の原資となる特定資産取崩収入は、予算を下回った。

【平成21年度実績との比較】

事業活動支出が平成21年度実績を上回ったため、事業活動支出の原資となる特定資産取崩収入は、平成21年度実績を上回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出—再資源化預託金等特定資産組入支出

金額

平成22年度			平成21年度 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
67,305百万円	67,825百万円	99%	65,717百万円	1,588百万円	102%

【予算との比較】

概ね予算のとおり。

【平成21年度実績との比較】

主として新車購入時の預託金預り収入の実入金額が平成21年度実績を上回ったため、特定資産取得支出は、平成21年度実績を上回った。